

事業区分	新規	事業名	人件費補正			
所管課	42	人事課	(総務部)		宇陀市予算	
事業の目的	国家公務員の給与減額支給措置を実施していることに伴い、国に準じた措置を講ずるよう要請を受けて、宇陀市においても人件費減額補正を計上する。				区分 No.	区分名
					款	
					項	
					目	
					細目	
根拠条例等						
総合計画						
H25年度事業の概要	1. 給料 △62,633千円 2. 職員手当 △39,280千円 うち、期末手当 △21,367千円 勤勉手当 △10,585千円 時間外勤務手当 △4,528千円 地域手当 △2,800千円 3. 共済費 △17,555千円 人件費計 △119,468千円 対象者数 425名				財源の内訳 (単位:千円)	
					分担金	
事業の成果					使用料	
					国費	
					県費	
					市債	
					その他	
				一般財源	▲ 119,468	
				補正額	▲ 119,468	
				H25補正前予算額	3,818,110	
				H25現計予算額	3,698,642	
事業の目標					特定財源の状況	
備考						

事業区分	新規	事業名	財政調整基金積立事業									
所管課	61	財政課	(企画財政部)		宇陀市予算							
事業の目的	普通交付税の合併算定替え終了による財源不足額や、将来の財政負担に備えるため基金を積み立てる。				区分 No.	区分名						
					款	2	総務費					
					項	1	総務管理費					
					目	3	財産管理費					
					細目	1	本庁財産管理費					
根拠条例等	宇陀市財政調整基金条例											
総合計画	基本計画 第6章 第4節 行財政改革の推進											
H25年度事業の概要	国家公務員の給与減額支給措置を実施していることに伴い、国に準じた措置を講ずるよう要請を受けて削減した宇陀市の人件費分を、後年度において地域活性化事業や防災減災事業などの財源とするため財政調整基金に積み立てる。 財政調整基金積立金 119,468千円				財源の内訳 (単位:千円)							
					分担金							
事業の成果	基金残高の年度末見込み (単位:千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>基金名</th> <th>平成24年度末</th> <th>平成25年度末見込み</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>財政調整基金</td> <td>1,675,200</td> <td>1,590,330</td> </tr> </tbody> </table>				基金名	平成24年度末	平成25年度末見込み	財政調整基金	1,675,200	1,590,330	使用料	
					基金名	平成24年度末	平成25年度末見込み					
					財政調整基金	1,675,200	1,590,330					
					国費							
					県費							
					市債							
					その他							
一般財源	119,468											
補正額	119,468											
H25補正前予算額	2,062											
H25現計予算額	121,530											
事業の目標	財政調整基金は、標準財政規模の10%が概ねの目安であり、宇陀市の場合は既に達成しているが、将来の財政負担に備えて基金造成を行う。				特定財源の状況							
備考												

事業区分	新規	事業名	一般コミュニティ助成事業																								
所管課	41	総務課	(総務部)																								
事業の目的 財団法人自治総合センターの宝くじの普及広報事業である一般コミュニティ助成事業を活用し、健全な地域の発展や、自治会活動の充実を図る。					宇陀市予算																						
					区分	No.	区分名																				
					款	2	総務費																				
					項	1	総務管理費																				
					目	7	自治振興費																				
細目	84	コミュニティ助成事業費																									
根拠条例等	宇陀市コミュニティ助成事業費助成金交付要綱																										
総合計画	基本計画 第6章第3節 地域力の再生																										
H25年度事業の概要 宝くじの収入を財源として財団法人自治総合センターがコミュニティ活動に助成を行うことにより、地域社会の健全な発展を図るとともに、宝くじの社会貢献広報事業を行うもので、申請は市町村・都道府県経由で行われ、補助金は市町村経由でコミュニティ組織に交付される。 募集にあたっては、市内4地域の連合自治会を通じて周知を行い、応募申請25件に対し、4件が採択された。 集会所備品の整備 3件 6,900千円 伝統行事備品 1件 2,500千円 合計 4件 9,400千円					財源の内訳 (単位:千円)																						
					分担金																						
事業の成果 住民が自主的に行うコミュニティ活動の促進を図り、地域の連帯感に基づく自治意識を盛り上げることを目指し、コミュニティ活動に直接必要な設備等の整備を行う。 平成24年度実績 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>イベント用備品の整備</td> <td>1件</td> <td>2,500</td> </tr> <tr> <td>集会所備品の整備</td> <td>6件</td> <td>12,800</td> </tr> <tr> <td>防犯灯の整備</td> <td>1件</td> <td>2,500</td> </tr> <tr> <td>伝統行事備品の整備</td> <td>1件</td> <td>2,500</td> </tr> <tr> <td>清掃管理機器等の整備</td> <td>1件</td> <td>1,100</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>10件</td> <td>21,400</td> </tr> </table>					イベント用備品の整備	1件	2,500	集会所備品の整備	6件	12,800	防犯灯の整備	1件	2,500	伝統行事備品の整備	1件	2,500	清掃管理機器等の整備	1件	1,100	合計	10件	21,400	使用料				
					イベント用備品の整備	1件	2,500																				
					集会所備品の整備	6件	12,800																				
					防犯灯の整備	1件	2,500																				
					伝統行事備品の整備	1件	2,500																				
					清掃管理機器等の整備	1件	1,100																				
					合計	10件	21,400																				
国費																											
県費																											
市債																											
その他		9,400																									
一般財源																											
補正額		9,400																									
H25補正前予算額																											
H25現計予算額		9,400																									
事業の目標 コミュニティの健全運営の発展及び宝くじの普及広報を行う。					特定財源の状況																						
					財団法人自治総合センター コミュニティ助成金:9,400千円																						
備考																											

事業区分	新規	事業名	起業支援型雇用創造事業(食でつながるコミュニティビジネス事業)			
所管課	147	まちづくり支援課	(企画財政部)			
			宇陀市予算			
事業の目的	宇陀市室生大野地区で、高齢化によるコミュニティの希薄化、耕作放棄地の拡大といった地域がかかえる課題の解決にむけて協働で取り組んでいるNPOが、今後さらに活動を広げるため、「食」をキーワードに循環型社会の形成と美しい田園風景の再生をめざし、高齢者を対象とした配食や共食などのコミュニティビジネスを実施することで、高齢者や子育て世代の女性にも雇用の機会を創出し、地域住民のやる気を引き出し元気のある地域づくりを行う。			区分	No.	区分名
				款	2	総務費
				項	1	総務管理費
				目	17	まちづくり支援費
細目	1	まちづくり支援費				
根拠条例等						
総合計画	基本計画 第6章 第3節 (2)市民活動の支援					
H25年度事業の概要	①配食事業 一人暮らしの高齢者や、毎日の食事に不安がある人のために、安否確認の見守りを兼ねて、栄養バランスのとれた食事を届ける。 ②共食事業 地域の高齢者が集まって一緒に食事することで、食生活を改善し、生活習慣を規則正しいものにする。 ③地域産品開発・販売事業 自家製の農産物を材料にした地域産品を開発・販売する。 ④耕作放棄地解消事業 拡大する耕作放棄地を開墾し、そこで栽培された農産物を配食・共食事業の食材や地域産品の原材料として使用する。			財源の内訳 (単位:千円)		
				分担金		
事業の成果	■失業者に対して雇用の機会を創出・提供することにより、これらの者の生活の安定を図ることができる。 ■地域に根ざした雇用創出に資する事業を実施し、地域の安定的な雇用の受け皿を創出する。 ■「食」をキーワードに地域がつながることで、失われつつあるコミュニティの再生を図ることができる。 ■耕作放棄地を開墾することで美しい田園風景を再生する。			使用料		
				国費		
				県費	6,534	
				市債		
				その他		
				一般財源		
補正額	6,534					
H25補正前予算額						
H25現計予算額	6,534					
事業の目標	■複数のNPOが協働でビジネスの手法を用いて地域課題を解決する取組が発展し、安定的な雇用を創出することで、他のモデルとなる。 ■農産物の生産だけにとどまらず、それを原材料とした加工食品の製造・販売や体験農園のようなサービスなど、第二次産業や第三次産業にまで踏み込むことで、六次産業化の推進を図り、地域力を向上させる。			特定財源の状況		
				緊急雇用創出事業 起業支援型雇用創造事業 6,534千円		
備考						

事業区分	新規	事業名	移住・交流による地域活性化支援事業			
所管課	147	まちづくり支援課	(企画財政部)			
			宇陀市予算			
事業の目的	菟田野地域の「NPO法人宇陀カエデの郷づくり」では、指定管理を受けている「奈良カエデの郷ひらら」が市内外の方々に興味を持っていただくためにカエデを地域資源として活用し、貴重なカエデを鑑賞していただくだけでなく、昭和13年建築の木造校舎が残る歴史的な雰囲気の中で、地域の人々と触れ合う「(仮称)カエデフェスティバル(11月実施予定)」をメインに各イベントを実施することにより、リピーターを増やし都会と地域、人と人を結ぶ交流を図るもの。			区分	No.	区分名
				款	2	総務費
				項	1	総務管理費
				目	17	まちづくり支援費
細目	1	まちづくり支援費				
根拠条例等						
総合計画	基本計画 第6章 第3節 (2)市民活動の支援					
H25年度事業の概要	■(仮称)カエデフェスティバル概要 コンサートや特産品のバザーのほか、各種体験教室を開催することにより、都市と地域、人と人を繋げる交流事業を実施する。 ※体験教室 (案)カエデを使ったこけ玉作り教室、寄せ植え作り教室、地場産間伐材利用によるプランターケース作り ■マスコットキャラクターの着ぐるみを製作し、市内外の各種イベントで「奈良カエデの郷ひらら」のPR活動を行い、子どもや若者を巻き込みながら、家族連れも訪れ楽しめる楽しい雰囲気作りを行う。			財源の内訳 (単位:千円)		
				分担金		
事業の成果	■都会の人たちを招き入れる交流イベントの展開により、地域の活性化を図る。また、地域住民も活動の中で、自らの地域の良さを再発見し、活躍できる場所を作る。 ■「奈良カエデの郷」へ訪れていただくことで、地域の良さや人の温かさを感じていただき、宇陀市のPRに繋げる。			使用料		
				国費		
				県費		
				市債		
				その他	2,000	
			一般財源			
			補正額	2,000		
			H25補正前予算額			
			H25現計予算額	2,000		
事業の目標	■カエデを通じて、交流の場を創出し、地域の活性化を図る。			特定財源の状況		
				移住・交流による地域活性化支援事業助成金 2,000千円		
備考						

事業区分	新規	事業名	宇陀市子ども・子育て会議				
所管課	126	子ども支援課	(健康福祉部)		宇陀市予算		
事業の目的	昨年8月に成立した子ども・子育て支援法第77条には、市町村等が子ども・子育て支援新制度に関する事務を処理するため、条例に定めるところにより、審議会その他の合議制の機関を置くように努めるものとする。 本市でも幼稚園・保育所のあり方や認可・運営基準、施設の給付見込の推量など、平成26年度上半期までに5年を1期とする子ども・子育て支援事業計画を策定することになっている。 この事業計画に有識者や保護者代表などの意見を反映させる意味から、市町村版子ども・子育て会議を設置・運営する。				区分	No.	区分名
					款	3	民生費
					項	2	児童福祉費
					目	1	児童福祉総務費
					細目	1	本庁児童福祉総務費
根拠条例等	子ども・子育て支援法第77条						
総合計画	基本計画 第2章 第5節 「子育て支援が充実したまち」						
H25年度事業の概要	子ども・子育て新制度の具体的運用に係る基本指針や認可・運営基準、認定こども園・幼稚園・保育所を通じた共通の給付の創設等を盛り込んだ宇陀市子ども・子育て支援事業計画の策定にむけ、審議・検討を行う。 * 現状把握及びニーズ調査に向けたアンケート内容の検討 * アンケート調査結果と分析 * 子ども・子育て支援事業計画に記載する給付や事業の見込み並びに実施しようとする提供体制の確保の内容及びその実施時期(報酬)子ども・子育て会議委員長 @7800円×1名×3回×1/2=11,700円 その他委員 @6800円×19名×3回×1/2=193,800円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果					使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	206	
					補正額	206	
					H25補正前予算額		
					H25現計予算額	206	
事業の目標	地域の子育てに関する保護者ニーズを把握し、子ども・子育て支援事業計画を策定、子育て支援の充実を図る。				特定財源の状況		
備考							

事業区分	継続	事業名	生活保護適正実施推進事業				
所管課	121	厚生保護課	(健康福祉部)		宇陀市予算		
事業の目的	平成25年3月12に日行われた「生活保護関係全国係長会議」において、生活扶助基準額の見直しについて示されており、本年8月より基準額等の改正を実施するものとなっている。今回の改正に伴い、生活保護費算定方法についても変更点があることから、現行使用中の生活保護電算システムの改修が必須となるため、セーフティネット支援対策事業(生活保護適正実施推進事業分)に協議の申請を行う。				区分 No.	区分名	
					款	3	民生費
					項	3	生活保護費
					目	1	生活保護総務費
細目	1	生活保護総務費					
根拠条例等	セーフティネット支援対策等事業補助金要綱(生活保護適正実施推進事業)						
総合計画	基本計画 第2章第6節 心豊かな地域福祉の充実						
H25年度事業の概要	生活保護電算システム改修費 815,880円×1.05=856,674円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	8月から新基準で生活保護業務を運用するにあたっては、遅くとも7月中旬には改修プログラムの適用を終える必要がある。現在使用中の生活保護電算システムの開発業者である北日本コンピューターサービス株式会社に業務を委託することで、システム入れ替え等の費用をかけることなく、業務を滞りなく行うことが可能。				使用料		
					国費	857	
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源		
					補正額	857	
H25補正前予算額	1,593						
H25現計予算額	2,450						
事業の目標	8月から新基準で生活保護業務を運用できるよう、システムの改修を図り、生活保護事務の適正実施を図る。				特定財源の状況		
					生活保護適正実施推進事業補助金		
備考							

事業区分	新規	事業名	風しん予防接種補助事業				
所管課	123	健康増進課	(健康福祉部)		宇陀市予算		
事業の目的	全国的に昨年の風しん感染報告数は過去5年間で最も多い数となり、今年もさらに報告数が増加してきている。風しんは妊娠初期の女性が罹患すると、出生児が先天性風しん症候群の発症がおこる可能性がある。妊娠を希望する女性と妊婦の配偶者に対し、予防接種費用を助成し、接種勧奨に努める。				区分	No.	区分名
					款	4	衛生費
					項	1	保健衛生費
					目	2	予防費
細目	1	本庁予防費					
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第2章 第1節 健康づくりの推進						
H25年度事業の概要	【実施見込概算費用】 接種見込者数 300人 × 5,000円 = 1,500,000円 ※参考 定期予防接種(MRワクチン)委託料金 8,920円				財源の内訳 (単位:千円)		
	【対象者】 接種時点で、市内在住の19歳以上の方で ①妊娠を希望している女性 ②妊娠している女性の夫 ただし、妊娠中の女性、MRまたは単独の風疹ワクチンを2回接種している人、風疹にかかったことのある人は助成の対象外				分担金		
事業の成果	現在の流行に対応するため、助成期間を平成25年7月1日～平成26年3月31日とし、接種費用を助成することで接種率を高め、妊婦の感染を予防し、ひいては先天性風しん症候群を予防する。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
				その他			
				一般財源	1,500		
				補正額	1,500		
				H25補正前予算額			
				H25現計予算額	1,500		
事業の目標	接種率を高め、先天性風しん症候群を予防する。				特定財源の状況		
備考							

事業区分	新規	事業名	メープルパーク・カフェ運営委託事業														
所管課	146	商工観光課	(農林商工部)		宇陀市予算												
事業の目的	菟田野地域で廃校となった木造の旧宇太小学校校舎と学校敷地を活用し、日本初の世界のカエデ公園(1200種3000本植栽(奈良カエデの郷ひらら))が25年4月28日に開園する。この施設を市の一つの観光拠点として活用するため、カフェ運営や地場製品の販売などを行い、にぎわいのある空間を作るとともに、地域雇用の創出を図る。				区分	No.	区分名										
					款	6	商工費										
					項	1	商工費										
					目	2	観光費										
細目	1	本庁観光費															
根拠条例等																	
総合計画	基本計画 第5章 第4節 観光の振興 観光基盤の整備																
H25年度事業の概要	【運営】懐かしい木造校舎でカフェの運営、地場産品や地域特産品の直売所を運営 【新規雇用者の事務】カフェでの調理、経理事務等:2名、カフェ、直売所での接客等:2名				財源の内訳 (単位:千円)												
	<table border="1"> <tr> <td>賃金(4名)</td> <td>6,300,000</td> </tr> <tr> <td>社会保険料</td> <td>771,948</td> </tr> <tr> <td>需用費(光熱水費)</td> <td>270,000</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>90,000</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>650,000</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>8,081,948</td> </tr> </table>				賃金(4名)	6,300,000	社会保険料	771,948	需用費(光熱水費)	270,000	使用料及び賃借料	90,000	備品購入費	650,000	合計	8,081,948	分担金
賃金(4名)	6,300,000																
社会保険料	771,948																
需用費(光熱水費)	270,000																
使用料及び賃借料	90,000																
備品購入費	650,000																
合計	8,081,948																
事業の成果	懐かしい木造校舎をリフォームしたカフェ物販スペースを創設運営委託することにより、メープルパークに訪れたお客様の滞在時間の延長を促し、休憩時間の創出や販売している地元産品への関心を深めていただく。同時に、雇用創出目的の事業でもあるため、4名の雇用を創出できる。				使用料												
					国費												
					県費 8,082												
					市債												
					その他												
				一般財源													
				補正額 8,082													
				H25補正前予算額													
				H25現計予算額 8,082													
事業の目標	宇陀市の観光拠点である当施設のさらなる誘客及び来客の滞在に寄与増進する事業として展開していく。リピーターにおいて再度来園したくなる地元産品の販売や、同じくカフェの商品を目標に事業展開していく。地元産品の販売による地域経済の活性化をも目標としている。また事業による雇用の創出もおおきな事業の目標である。				特定財源の状況												
					緊急雇用創出事業交付金 8,082千円(100%)												
備考																	

事業区分	新規	事業名	保養センター美榛苑耐震化診断委託事業				
所管課	146	商工観光課	(農林商工部)		宇陀市予算		
事業の目的	昭和55年に営業を開始した当該施設において、新耐震基準(昭和56年6月1日以前に建築確認をうけたもの)の該当しない部分の建物について、耐震化診断を行う。				区分	No.	区分名
					款	6	商工費
					項	1	商工費
					目	3	美榛苑費
					細目	1	美榛苑費
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第5章 第4節 観光の振興 温泉を活用した観光施設の充実						
H25年度事業の概要	新耐震基準(昭和56年6月1日以前に建築確認をうけたもの)の該当しない部分の建物について、耐震化診断委託を行う。 耐震化診断業務委託費 8,500千円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	新耐震基準以前の建築確認部分の耐震診断を行い、当委託事業の診断結果により、保養センター美榛苑の該当部分における今後の事業の展開を進める。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	8,500	
					補正額	8,500	
H25補正前予算額							
H25現計予算額	8,500						
事業の目標	宇陀市の観光の中心拠点としての当施設において、耐震診断により、まず耐震機能の数値化をはかり、今後の事業展開につなげる基準とするもの。				特定財源の状況		
備考							

事業区分	新規	事業名	保養センター美榛苑経済効果コンサルティング委託事業				
所管課	146	商工観光課	(農林商工部)		宇陀市予算		
事業の目的	宇陀市の地域産業、観光の拠点としての当施設において、観光、地域経済、雇用の側面等多角的な診断を行い数値化する為、経済効果コンサルティングを委託するものとする。				区分 No.	区分名	
					款	6	商工費
					項	1	商工費
					目	3	美榛苑費
					細目	1	美榛苑費
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第5章 第4節 観光の振興 温泉を活用した観光施設の充実						
H25年度事業の概要	保養センター美榛苑の経済波及効果を算出するもの。 直接的な効果として、地域経済効果の数値化や、保養センター美榛苑雇用者による消費(間接波及効果等)の算出等の多角的な経済効果の算出を行う。 委託料:1,600,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	経済効果コンサルティングを委託する事により、各経済効果等を数値化する事ができ、25年度以降プロジェクトチームにおいてあらゆる側面の検討材料とする。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	1,600	
					補正額	1,600	
					H25補正前予算額		
					H25現計予算額	1,600	
事業の目標	宇陀市の観光、地域経済の拠点の一つである当施設において、観光産業についての貢献度、又は宇陀市地域に与える経済効果、又は美榛苑のはたしている雇用創出度はどれくらいのものか。具体的に多角的に数値化することにより、これからの事業展開に役立てる事とする。				特定財源の状況		
備考							

事業区分	新規	事業名	保養センター美榛苑マイクロバスリース事業				
所管課	146	商工観光課	(農林商工部)		宇陀市予算		
事業の目的	保養センター美榛苑施設において団体の大型宴会、会議宿泊又は近鉄榛原駅との定期バスに必須なものであるマイクロバスをリースすることにより、当施設の利用者の送迎を確保し、安定化させるため、一般会計から繰出すものである。				区分 No.	区分名	
					款	6	商工費
					項	1	商工費
					目	3	美榛苑費
					細目	1	美榛苑費
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第5章 第4節 観光の振興 温泉を活用した観光施設の充実						
H25年度事業の概要	●平成25年度 913,288円(8ヶ月)分				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	中型バス(45人乗り)の故障に伴い、当施設利用客の運搬手段が懸念されていたが、マイクロバスを一台リースすることにより、利用客の送迎が確保される。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
				一般財源	914		
				補正額	914		
				H25補正前予算額	101,400		
				H25現計予算額	102,314		
事業の目標	新たにマイクロバスをリースする事により、一台故障の状況であったが、利用客の送迎手段の確保が可能となり、安定した営業活動が展開できる。				特定財源の状況		
備考							

事業区分	新規	事業名	消防団員福祉共済				
所管課	43	危機管理課	(総務部)		宇陀市予算		
事業の目的	消防団員の福利厚生のための相互扶助による共済制度で、日常生活上の疾病、事故による給付はもとより、特に公務上での死亡、重度障害に手厚い給付となっています。 掛金(年間) 宇陀市1,500円 本人1,500円				区分	No.	区分名
					款	8	消防費
					項	1	消防費
					目	2	非常備消防費
					細目	1	本庁非常備消防費
根拠条例等							
総合計画							
H25年度事業の概要	消防団員福祉共済遺族援護金 消防団員 1名 平成25年4月24日死亡 公務外 1,000,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果					使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他	1,000	
					一般財源		
					補正額	1,000	
					H25補正前予算額		
					H25現計予算額	1,000	
事業の目標					特定財源の状況		
					消防団員福祉共済遺族援護金 1,000千円		
備考							

事業区分	新規	事業名	コミュニティ助成事業(地域防災組織育成助成事業)				
所管課	43	危機管理課	(総務部)		宇陀市予算		
事業の目的	財団法人自治総合センターの宝くじの普及公報事業であるコミュニティ助成事業(地域防災組織育成助成事業)を活用し、健全な地域の発展や、自主防災組織活動の充実を図る。				区分 No.	区分名	
					款	8	消防費
					項	1	消防費
					目	3	災害対策費
細目	1	災害対策費					
根拠条例等	宇陀市コミュニティ助成事業費助成金交付要綱						
総合計画	基本計画 第3章第5節 安全・安心な暮らしの実現						
H25年度事業の概要	宝くじの収入を財源として財団法人自治総合センターがコミュニティ活動に助成を行うことにより、地域社会の健全な発展を図るとともに、宝くじの社会貢献広報事業を行うもので、申請は市町村・都道府県経由で行われ、補助金は市町村経由でコミュニティ組織(自主防災組織)に交付される。 募集については、市内の自主防災組織結成組織に周知した。応募申請20団体に対し、1団体が採択された。 災害時に伴う資機材の購入 2,000千円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	地域住民が、「自分たちの地域は、自分たちで守る」という地域住民の自衛意識と連帯感に基づいて地域防災組織の育成を図り、併せて、自主防災活動に必要な資機材の整備を図る。 今回、初めて助成を受けた。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
		その他	2,000				
		一般財源					
		補正額	2,000				
		H25補正前予算額					
		H25現計予算額	2,000				
事業の目標					特定財源の状況		
					財団法人自治総合センター コミュニティ助成金 2,000千円		
備考							

平成 25 年度 宇陀市 住宅新築資金等貸付事業特別会計 補正予算 [第 1 号] 事業別シート

事業区分	新規	事業名	住宅新築資金等貸付事業				
所管課	102	人権推進課	(市民環境部)		宇陀市予算		
事業の目的	歴史的社会的理由により生活環境等の安定向上が阻害されている地域の環境改善を図るため、町村条例に基づき貸付を行った「住宅新築資金」「宅地取得資金」「住宅改修資金」について、貸付けを行った資金を公正で適正かつ効率的に回収すること。				区分	No.	区分名
					款	3	前年度繰上充用金
					項	1	前年度繰上充用金
					目	1	前年度繰上充用金
細目	1	前年度繰上充用金					
根拠条例等							
総合計画							
H25年度事業の概要	貸付制度は平成13年度で廃止されたが、その後の償還等に係る事務を行っている。公正で効率的に償還を進めるため、平成17年1月に設立された奈良県住宅新築資金等貸付金回収管理組合に加入し、債権の回収を管理組合が行い、その会計処理を特別会計で処理している。 ○奈良県住宅新築資金等貸付金回収管理組合 構成市町村 奈良市、大和高田市、大和郡山市、天理市、橿原市、五條市、御所市、葛城市、宇陀市、山添村、三郷町、川西町、三宅町、田原本町、曾爾村、御杖村、高取町、王寺町、河合町、吉野町 ○旧町村の最終貸付年度 大宇陀町：昭和61年度（新築）、菟田野町：平成13年度（宅地）、榛原町：平成8年度（新築）、室生村：平成10年度（宅地） ○住宅新築資金起債残高（平成25年3月末現在） 138,052千円 ○最終起債返済年度：平成38年度（最終貸付：平成13年度）				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	平成24年度貸付金回収状況 (単位:千円)				使用料		
					国費		
	県費						
	市債						
	その他	371,154					
	一般財源						
	補正額	371,154					
H25補正前予算額							
H25現計予算額	371,154						
事業の目標	住宅新築資金等貸付金を借受者より回収する。 ○平成24年度末残債額 257件 655,089千円 ○平成24年度当初債権数 276件 順調債権 44件 滞納債権 130件 償還なし 102件				特定財源の状況		
備考							

事業区分	新規	事業名	保養センター美榛苑マイクロバスリース事業																																						
所管課	146	商工観光課	(農林商工部)		宇陀市予算																																				
事業の目的	保養センター美榛苑施設において団体の大型宴会、会議宿泊又は近鉄榛原駅との定期バスに必須なものであるマイクロバスをリースすることにより、当施設の利用者の送迎を確保し、安定化させるため、一般会計から繰り入れを受ける。				区分 No.	区分名																																			
					款	2	営業外費用																																		
					項	3	営業外費用																																		
					目	3	雑支出																																		
細目	3	雑支出																																							
根拠条例等	●平成25年度 913,288円(8ヶ月)分																																								
総合計画																																									
H25年度事業の概要	●平成25年度 913,288円(8ヶ月) ○平成26年度 1,371,912円(12ヶ月) ○平成27年度 1,371,912円(12ヶ月) ○平成28年度 1,371,912円(12ヶ月) ○平成29年度 1,371,912円(12ヶ月) ○平成30年度 457,304円(4ヶ月)				財源の内訳 (単位:千円)																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>頭金</th> <th>賦課金等</th> <th>消費税等</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回賦払金</td> <td>108,422</td> <td>4,584</td> <td>113,006</td> </tr> <tr> <td>第2回～60回賦課金</td> <td>109,700</td> <td>4,626</td> <td>6,745,234</td> </tr> <tr> <td>合計額</td> <td>218,122</td> <td>9,210</td> <td>6,858,240</td> </tr> </tbody> </table>				頭金	賦課金等	消費税等	合計	第1回賦払金	108,422	4,584	113,006	第2回～60回賦課金	109,700	4,626	6,745,234	合計額	218,122	9,210	6,858,240	<table border="1"> <tbody> <tr><td>分担金</td><td></td></tr> <tr><td>使用料</td><td></td></tr> <tr><td>国費</td><td></td></tr> <tr><td>県費</td><td></td></tr> <tr><td>市債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td>914</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td></td></tr> <tr><td>補正額</td><td>914</td></tr> <tr><td>H25補正前予算額</td><td></td></tr> <tr><td>H25現計予算額</td><td>914</td></tr> </tbody> </table>		分担金		使用料		国費		県費		市債		その他	914	一般財源		補正額	914	H25補正前予算額		H25現計予算額
頭金	賦課金等	消費税等	合計																																						
第1回賦払金	108,422	4,584	113,006																																						
第2回～60回賦課金	109,700	4,626	6,745,234																																						
合計額	218,122	9,210	6,858,240																																						
分担金																																									
使用料																																									
国費																																									
県費																																									
市債																																									
その他	914																																								
一般財源																																									
補正額	914																																								
H25補正前予算額																																									
H25現計予算額	914																																								
事業の成果	中型バス(45人乗り)の故障に伴い、当施設利用客の運搬手段が懸念されていたが、マイクロバスを一台リースすることにより、利用客の送迎が確保される。																																								
事業の目標	新たにマイクロバスをリースする事により、一台故障の状況であったが、利用客の送迎手段の確保が可能となり、安定した営業活動が展開できる。				特定財源の状況																																				
備考																																									